

## 「人生の方程式」 卒業式あいさつ

ただいま、306名の皆さんに「卒業証書」を授与しました。改めまして、ご卒業おめでとうでございます。担任より一人ひとり呼名をされ、それぞれの思いを胸に、立ち上がる皆さんの姿をみて、凛々しく、そしてたくましく感じました。卒業証書はクラス代表にお渡ししましたが、私としては、306名一人ひとりに渡したのと同じ思いであります。

そして、本日、ご参列いただきました保護者の皆様におかれましても、大切にお育てになったお子様のご卒業、誠におめでとうでございます。

日々成長を見守る中で、多感な時期ならではの難しさや、もどかしさを保護者としても感じつつ、でも子供のためにと、思い悩んだことも多かったことと推察いたします。暖かく見守っていただき、今日の良き日を迎えることができましたことを、我々職員一同大変うれしく思っていると同時に、感謝申し上げます。

今年も、残念ながら、新型コロナウイルスの蔓延の影響で、一生で一度の大切な高校の卒業式をこのように規模を縮小し、各家庭1名の出席とさせていただきますことは、皆様、保護者の皆様に対して、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

こんな時だからこそ、皆さんで気持ちを一つにして、自分たちで心に残る素晴らしい1日にしてください。

もう少しの辛抱だと思います。一日も早く、新型コロナウイルスのまん延が収束するよう願っています。

この2年間、部活動の大会がなくなったり、学校行事も中止や延期にせざるえない状況の中で、本当によく頑張りました。こんな時代だからこそ、今まで以上に逆境での強さが身につき、人への本当の思いやりや、やさしさを持つことができたことと思います。学校行事や部活動では支えてくれた人の力や仲間への絆もいっそう深まったことでしょう。悪いことばかりではありませんね。

4月から、いろいろな話をしてきました。「情けは人のためならず」「蚤のポテンシャル」「リスペクトアザース」「1万時間の法則」など。今日はそのまとめの話。「人生の方程式」の話です。

皆さんへの最後のメッセージとして、稲盛和夫さんの話を贈ります。実は、稲盛さんには、皆さんが間接的に世話になっていると思います。京セラ（株）KDDI（auの会社）を創業した、「稲盛和夫」さんは、「人生の方程式」という考えを著書に残しております。今、皆さんが当たり前にスマホを利用していますが、稲盛さんがいなければ、もう少し遅れていたことでしょう。

KDDI（前身はDDI：第二電電企画）ができなければ、NTT（ドコモ）の独占状態だった通信業界の自由化は生まれませんでした。

当時は、第二の通信会社なんて作れるわけないと、稲盛さんは、世間で笑われていました。その常識を打ち破り、通信業界の自由化に成功し、第2、第3の通信会社が生まれ、今の「スマホ時代」を迎えたのです。まわりはみんなネガティブだった中、今の時代を想像しながら、前向きに壁を1つ1つ破っていった稲盛さんの思いは、すごいですね。勇気と努力、そして、周りの人たちの支えが今のスマホ時代を導いたのです。感謝ですね。

また、平成最大の倒産といわれた JAL（日本航空）の倒産を政府が支援し、その建て直しを図ったのが、稲盛さんでした。数々の逆境をはねのけてきた方が、人生成功の秘訣を方程式で表しています。

その式は、

「人生および仕事の結果＝熱意×能力×考え方」です。

※繰り返し

ポイントは、掛け算であるところと「考え方」ですかね。「熱意・能力」は、あるか、ないかで計れ、0から100で表します。いずれかが「0」であれば、掛け算ですので、結果が「0」になります。でも「考え方」は、プラス思考（+）かマイナス思考（-）か、プラスとマイナスで表します。-100から+100まであるとすると。たとえば、やる気も才能も MAX、「熱意・能力」が100ずつならば  $100 \times 100 = 1$  万です。でも「考え方」がマイナス1（-1）であれば、 $\times -1 = -10000$ （1万）になります。また、考え方が些細なマイナス（ネガティブに）なっても、人生の結果はすべてマイナスになります。方程式上では「熱意・能力」（やる気・才能）が「0」の人より成功しないことになりますね。

要するに、「やる気・才能」が高かったとしても、前向きな、プラス思考、ポジティブな考え方をしなければ、成功しないということです。コロナ禍のように今ある現象は変えられないことが多いです。逆境の時ほど、前向きに考え行動することが次の成功に結びつく秘訣でしょう。

先日まで熱戦を繰り広げていた、北京冬季オリンピックでは、多くの人々に感動と勇気を与えてくれました。私は、スノーボードハーフパイプの「平野歩夢選手」のコメントが心に残っています。

3本滑走がある中で、2本目は、人類史上最高難度のルーティンを決め、大きなミスなく終わったものの、得点が出ないでその時点では2位でした。見ている人も納得がいかなかったのではないのでしょうか。本人は、その時に怒りや苛立ちがあったことは、後の記者会見で話していました。3本目は、誰も疑わない、世界最高のパフォーマンスを演じ、見事、日本人初の金メダルに輝きました。2大会連続で銀メダルでしたが、今回は、会心の演技で金メダルを獲得し、本当に素晴らしいと思います。

その裏側には、超一流の「考え方」がありました。

インタビューで「2本目のスコアは納得いかなかったが、その怒りを次の3本目のモチベーション、パワーに変えた」と話していました。まさに「成功の方程式」ですね。ちょっとでも、ネガティブに考えたり、怒りをあらわにしていたら、金メダルはなかったと思います。ポジティブに考え、冷静に自分の今できる最高のパフォーマンスをやりきることに集中した結果、成功に結びついたのです。

皆さんも人生の様々な場面で、いろいろな経験をすると思います。成功を手にするには、「考え方」を前向き（プラス）に変えることが大切ですね。困ったときに、稲盛和夫さんの「人生の方程式」を思い出してください。

私の1年間の話のまとめです。

「苦しい時こそ、前を向くこと。ポジティブに行動すること。そして、自分のことばかり考えるのではなく、思いやりや優しさを持ち、人を（相手ですね）大切にすること。」

このルーティンで必ず自分の夢に近づけます。

「人生、笑顔で前向きに生きる。」そして、人生の成功を自らの手でつかんでください。応援しています。

結びになりましたが、これまで、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただきました、保護者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さんは、これからも「旭 FAMILY」の一員として、後輩たちにいい刺激を与えるために、また戻って来てください。私たちは、いつでも歓迎します。

卒業生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。どうぞ、健康に留意され、ご活躍ください。頑張り！

令和4年3月3日

神奈川県立旭高等学校長 広瀬邦彦